

# 一 般 質 問

(4面～7面)

3月1日、3日、4日、5日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

## 会派の略称

(自民党小金井)	自由民主党小金井市議団
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(公明党)	小金井市議会公明党
(市議会民主党)	小金井市議会民主党
(リベラル保守)	リベラル保守の会
(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(改革連合)	改革連合
(市民自治)	市民自治こがねい
(市民会議)	こがねい市民会議
(こがねい)	小金井をおもしろくする会

## 商業振興への更なる支援と取組を

中山克己(自民党小金井)

国の補正予算成立に伴い、地域住民生活等緊急支交代付金等を活用した商業振興策について、どのように対応しているか。小金井市商工会と連携し、市内の購買意欲の向上を目指した施策の充実を。消費税増税も視野に入れ、消費行動の増進のため、プレミアム付商品券、さくらポ



イントカード等への助成を行い、更なる経済活性化、市内の商業振興活性を進めていただきたい。

**市民部長** 地域消費喚起支援型の予算は、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策として、地方公共団体が実施する地域における消費喚起策や、これに直接効果を有する生活支援に對して国が支援するもの。市では小

## 子育て・保育施策を問う

露口哲治(自民党小金井)

小金井市でも待機児童問題が大きな社会問題となり、自治体間の競争、住民サービスの満足度が高まらず問われる時代になっている。(ア)子ども・子育て支援事業計画は順調に進んでいるか。(イ)国が示す人口推計では、児童人口は計画最終年度の平成31年度まで増加傾向にあるもの



の、5歳までの児童人口は平成28年度をピークに減少に転じていくと見込まれている。保育施設を的確に提供する必要があるが、どう対応するか。(ウ)市立保育園の運営について、国分寺市、府中市、狛江市、立川市などは、民設民営を中心とした方針を示した。人件費もさることながら、財政運営上最も合理的なのが民

設民営化だが、市の方針は。子ども家庭部長 (ア)パブリックコメントの時期は遅れたが、他市並に進捗している。(イ)人口推計も参考に、計画的に必要な利用定員数を確保していきたい。

## 公民館を取り巻く課題

五十嵐京子(改革連合)

公民館貫井北分館が開設されて1年になる。緑センターができた際に公民館5館構想が示されたが、現在6館となっている。(ア)5館構想はどうなったのか。(イ)福祉会館の建て替えに伴い、公民館本館に関してどのような検討がされているか。(ウ)第3次行政改革大綱にある公民館本



館のセンター化とはどのようなものか。(エ)東センターをNPO法人に委託することによる財政効果は。(オ)委託化の方向性は他の館にも拡大する方向か。(カ)公民館使用の有料化の検討状況は。

**生涯学習部長** (ア)第2次基本構想で示されたもので、中学校区を考慮するとされた。現在弾力化が図られているが、5館に

## なぜ、投票率は下がり続けるのか

白井亨(こがねい)

(ア)市の最上位計画に「投票率の向上に努めます」とあるが、それに沿った具体的な計画は。(イ)類似団体である国分寺市は3か所、昭島市は2か所の期日前投票所を設けているが、小金井市はなぜ1か所なのか。(ウ)若者の投票率が低いことに鑑み、ド



の市政に対する意見集約をする会議体を作る必要があるのでは。(エ)松山大学での取組を参考に、大学内期日前投票所の設置や、啓発活動の立案段階から大学生に参加してもらえないか。

**選挙管理委員会事務局長** (ア)現在具体的な実施計画はないが、明るい選挙推進協議会で投票率向上を含めた取組を行っている。

## 福祉会館の現在と未来

百瀬和浩(リベラル保守)

現在の福祉会館と新たに建設予定の福祉会館について。(ア)耐震診断の結果は極めて危険な状態であると認識している。現在の福祉会館は、人命保護の観点から即時使用停止とし、仮移転の計画を早急に策定すべきと考えるが、いかがか。(イ)新福祉会館の建設計画(案)は、最悪の選



択である。パブリックコメントをみても計画の妥当性を評価する意見は少ないが、どう評価しているか。(ウ)まちづくり、市有財産の効果的利用、公共施設の複合化、多機能化、民間活力の導入、市民参加など、これまでの市の方針に全く沿っておらず、どの点においても配慮がなされていない極めて安易な計画であ

り、反対である。市の方針と整合性のない無責任な計画に対して、見解を伺う。

## 私立幼稚園と連携して子育て環境の確保を

渡辺ふき子(公明党)

(ア)4月から始まる子ども・子育て支援新制度では、地域に最も合った制度を組み立てるとしている。小金井市の目指す計画とは。(イ)市の調査では、今後幼稚園を利用したい保護者は57.4%、幼稚園の預かり保育希望者は34%である。市内の私立幼稚園の役割をどう考えるか。(ウ)



私立幼稚園における特別支援教育への支援(巡回相談事業等)についての見解は。(エ)私立幼稚園と保育所の様々な支援格差を是正するため、幼稚園との連携会を持ち、多様な子育て支援の環境整備を行うことを求める。

**子ども家庭部長** (ア)保育所の待機児童解消が本市の喫緊の課題である。今後は、施設の定員

(イ)期日前投票所を設けている第二庁舎は市の中央にあり効率よく投票できる場所である。公共施設配置や人口バランス、費用対効果等も見ながら検討したい。(エ)市内3つの大学と連携を図り、学生に選挙への関心を持ってもらうことは効果的だと認識している。他市状況も参考にしたい。

**企画財政部長** (ウ)他市事例の情報収集等に努め、多様な市民の意見を市政に活かしたい。

■その他、「待機児童問題の続き」「高架下開発とまちづくり」について質問しました。

り、反対である。市の方針と整合性のない無責任な計画に対して、見解を伺う。

**市長** (ア)現在の利用状況から、一時的にどこかへ移転するのは現実的に不可能である。できるだけ早く新しいものを建てるという方針である。(ウ)指摘されるような点は市内での協議の中にも出ていた。総合的に判断し、今の計画にたどり着いた。

**福祉保健部長** (イ)利用者の要望の把握に努め、新たに実施する事業内容を検討した上で計画を作成した。

枠充実と認定こども園の整備を図るなど、より多くの児童が市内の教育・保育施設を利用できる体制づくりを目指す。(イ)待機児童解消の一助となる、一時預かり事業の実施を検討したい。(エ)定期的に連絡調整、情報交換等が行える場の設定を考えたい。

**福祉保健部長** (ウ)「きらり」で私立幼稚園の園長会を行った。今後も関係づくりを進めたい。

■その他、「着実な名勝小金井(サクラ)の復活」「安全安心あいさつ運動の拡充」について質問しました。